

# 資料No.5-1

江田島市交流定住促進協議会  
令和6年3月27日

## 令和6年度 江田島市交流定住促進協議会 事業計画（案）について

### 1 活動方針

本市では、人口減少・少子高齢化が急速に進んでおり、人口減少による弊害が税収減、公共交通機関の利用者減、まちづくりの担い手不足など広く悪影響を及ぼしており、このままでは近い将来自治体としての機能維持が危ぶまれる事態にある。こうした状況を改善するため、市内への定住人口の拡大、特に若い世代の定住を促進する。

ひろしま暮らしサポートセンター（東京都にある県移住相談窓口）によると、広島県内都市部・瀬戸内エリアへの移住関心は依然として高い傾向にある。属性としては、単身女性やUターン希望の相談が増えているとの情報もあるため、ターゲット層の絞り方も工夫しながら、都市部へのアクセスが比較的良好、かつ瀬戸内エリアに位置する本市の魅力を、より分かりやすくPRする必要がある。

江田島市交流定住促進協議会では、市や関係団体等と連携し、市移住交流拠点施設「フウド」を中心とした移住相談対応、企業の誘引・相談対応、市内外の交流を通じて、移住定住促進及び交流人口・関係人口の拡大を目指す。

### 2 事業について

#### (1) 移住交流拠点事業

##### フウド事業

平成29年度から開始し、令和6年度は事業開始7年目に当たる。今後も引き続き、移住交流拠点施設フウドにおいて、イベント・セミナー実施やワーケーションの受け入れ等を通じ、市内外の交流を図る。移住定住促進の拠点としてフウド運営を行う。（外部委託事業）

#### (2) 移住定住事業

移住希望者の相談対応、空き家バンクの物件内覧案内を引き続き行う。市が行う移住促進事業と連携し、移住促進を図る。（外部委託事業）

#### (3) 江田島暮らしイメージツアー2

江田島市の近隣市町で働く子育て世帯に向けて、江田島市からでも仕事を変えず、島暮らしを実現できることを訴求するツアーを実施する。「住まい」「生活環境」「子育て環境」等をワンストップで案内し、より具体的な生活イメージの提供や居住環境等の情報提供を行う。

#### (4) その他

その他必要に応じて取組を実施する。

# 資料No.5-2

令和6年度 江田島市交流定住促進協議会 収支予算（案）

## 1 収入の部

（単位：円）

科目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A)-(B)	内 訳	摘 要
1 補助金	7,272,000	6,834,000	438,000		
				補助金	7,272,000
				補助金（江田島市）	7,272,000
2 受託料	0	0	0		
				受託料	0
3 負担金	0	0	0		
				負担金	0
4 雑入	210	210	0		
				雑入	210
				貯金利息等	210
					貯金利息
5 前年度繰越金	333,629	237,900	95,729		
				前年度繰越金	333,629
				前年度繰越金	333,629
					繰越金
6 フウド収入	96,001	65,750	30,251		
				フウド収入	96,001
				フウド収入	96,001
					フウド利用料（端数調整あり）
合計	7,701,840	7,137,860	563,980		

## 2 支出の部

（単位：円）

科目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減 (A)-(B)	内 訳	摘 要
1 事務費	10,000	10,000	0		
				事務費	10,000
				消耗品費	10,000
2 移住交流拠点 運営費	7,369,300	6,967,000	402,300		
				移住交流拠点運営費	7,369,300
①フウド事業	5,004,300	4,602,000	402,300		
				①フウド事業費	5,004,300
				需要費	848,000
				燃料費	36,000
				印刷製本費	30,000
				光熱水費	492,000
					電気代
					水道代
					下水道代
				修繕	200,000
					施設修繕費
				役務費	146,800
				通信運搬費	108,000
					電話代
					インターネット代
				手数料	10,000
					振込手数料
				委託料	3,937,500
				委託料	3,894,000
					フウド運営委託料
					消防用設備等点検業務（フウド）
				賃借料	72,000
				賃借料	72,000
					パフォーマンスチャージ料
				その他	0
				租税公課費	0
					印紙代
②移住定住事業 費	2,365,000	2,365,000	0		
				②移住定住事業費	2,365,000
				委託料	2,365,000
					空き家内覧・移住相談対応など委託料
3 旅費	10,860	10,860	0		
				旅費	10,860
				普通旅費	10,860
					就職相談会開催に係る事務調整
4 新規定住事業費	200,000	0	200,000		
				新規定住事業費	200,000
				新規定住事業開催費	200,000
5 新規ツアー開 催費	0	100,000	△ 100,000		
				新規ツアー事業費	0
				新規ツアー事業開催費	0
6 負担金	0	0	0		
				負担金	0
				負担金	0
7 手数料	0	0	0		
				手数料	0
				手数料	0
8 予備費	111,680	50,000	61,680		
				予備費	111,680
				予備費	111,680
合計	7,701,840	7,137,860	563,980		

# 資料No.5-3

江田島市交流定住促進協議会  
令和6年3月27日

## 島暮らしで新しいライフスタイルを！「江田島暮らしイメージツアー2」について(案)

### (1) 概要について

江田島市の近隣市町で働く子育て世帯に向けて、通勤しながら、島暮らしを実現できることを訴求するツアーを実施する。暮らす上で重要な要素となる「住まい」「生活環境」「子育て環境（認定こども園・学校）」等をワンストップで案内し、より具体的な生活イメージの提供や居住環境等の情報提供を行う。

### (2) 現状の課題について

- フودによる個別の移住相談や空き家案内では、基本的には移住希望者の相談内容に寄り添った対応を行っているが、その一日で案内できることには限りがあり、苦慮する場面がある。
- 移住希望者へのアンケートの結果、「生活環境」「子育て環境」「近所付き合い」等に不安を抱える方が一定数存在すること。

### (3) 目的について

問い合わせの多い「生活環境」「子育て環境」「近所付き合い」について、実際に来島し、肌で感じてもらうツアーを開催することで、移住希望者の移住の決断に際し抱えている不安の解消を図り、最終的には江田島市に移住をしてもらうこと。

#### **移住希望者のメリット**

- 移住後、江田島市内で新しい仕事を見つけるのではなく、広島市や呉市に通勤できるライフスタイルの提案。
- 移住希望者の気になる点として多い「地域にどんな人が住んでいるの」「生活環境をもっと詳しく知りたい」という要望に応えるため、地域や先輩移住者との交流を通して、その場で移住に対する不安について相談できること。また、これから移住を考えている参加者同士で交流を深めることができる。
- 他の参加者と意見交換をすることで、自分自身の移住の目的を、改めて見つめ直すことができる。

#### 運営側のメリット

- 空き家の内覧、生活環境の調査、地域との繋がり等、全てを一度に解消することは困難であったが、事前に参加者への聞き取りで、見たい場所や繋がりたい人について情報収集することで、ワンストップかつ、満足度の高い案内が可能となる。
- 移住定住促進の取り組みを対外的にPRすることで、潜在的な移住希望者に働きかけ、新たな移住希望者の創出を狙う。

#### (4) ターゲット

- ・既に江田島市への移住に興味を持ち、具体的に検討している空き家バンク利用登録者
- ・子育て世代(30~40代を中心としたご家族)
- ・広島市内に居住する方をメインに、近隣市町や首都圏からの移住希望者

#### (5) 内容

開催日	令和6年6月下旬~7月上旬
訪問場所	切串・秋月・飛渡瀬など、江田島町エリアの各所を巡る。 ・子育て世帯向け空き家(2~3軒) ・Kirikushi Coastal Village(切串)など
参加費	食費実費(予定)
募集人数	3~4世帯(概ね15人)
募集方法	募集チラシを作成の上、空き家バンク利用登録者の子育て世帯へDM